

会 議 録

会議の名称	平成 24 年度 第 1 回文化財審議会
開催日時	平成 24 年 6 月 26 日(月) 15 時 00 分～17 時 00 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	水宮恒委員、吉川節男委員、梅野俊明委員、大久保善郎委員、 塩入たま江委員、松本伸行委員 事務局 (加藤生涯学習課副課長、堀主査)
欠席者	横山亮英委員
会議次第	1. 報告 (1)平成 23 年度文化財保護事業について (2)平成 24 年度文化財保護事業について (3)入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告について (4)その他 2. 協議 (1)今年度の文化財審議会計画について (2)文化財保存団体補助金の交付について (3)各種委員の選出について
会議資料	①平成 23 年度の主要事業 ②平成 24 年度の主要事業 ③入間東部地区文化財保護連絡協議会平成 24 年度総会資料 ④平成 24 年度文化財審議会審議計画 (案) ⑤富士見市文化財保存団体連絡協議会補助金交付について
公開・非公開	公開 (傍聴人 0 人)
会議録確認	水宮恒委員

会議内容

委嘱状交付式終了後、会議を開催する。

議長選出

委員の互選により、水宮恒委員を議長に、横山亮英委員を副議長に選出した。

あいさつ（議長）

1. 報告

(1)平成 23 年度文化財保護事業について

資料の説明

(2)平成 24 年度文化財保護事業について

資料の説明

(3) 入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告

資料の説明

(4) その他

資料の説明（第 57 回文化財講習会の開催について）

2. 協議

(1)今年度の文化財審議会計画について

事務局：新任期であることから、前年までの文化財審議会での審議内容を説明する。（資料説明）

これまでに、地域の文化財を後世に残し、市民に親しまれるよう活用していくことを目的に、保存と活用制度の拡充について検討しまとめていただいた。

それを踏まえて、現状の把握、また補填すべき資料や文化財の分野・項目の検討も必要と思われる。その過程で必要なものについては市指定文化財への指定や登録文化財等の制度の適用を検討できないかと考えているが、意見を伺いたい。

委員：把握は必要だと思う。実際に現地へ赴いて、現状を知ることが大切だと思う。資料館にも多くの指定文化財があるので、話が聞ければ良い。活用の面においても現状を聞かせてもらいたい。

事務局：次回、資料館といくつかの指定・未指定の文化財の現状を把握で計画してよいか。

委員：良いと思う。

委員：視察するコースについては、事務局にまかせる。

委員：登録文化財制度については、補助金は出ないと認識しているが、どうか。

事務局：建造物の保存修理に係る設計監理に要する経費については補助金はでるが、それ以外の部分ではでないのが現状である。重要文化財と比較すれば、縛りも軽いものになる。

委員：そうした活用できる制度はしたほうが良い。

事務局：そうした登録候補についても、今後ご検討をいただきたい。

(2) 文化財保存団体補助金の交付について

事務局：市指定文化財に指定されている民俗芸能を保存・継承している7団体で構成されている文化財保存団体連絡協議会に対して、その保存と活用を図るために補助金を交付している。富士見市文化財の保存及び活用に関する条例により、補助金交付に関して文化財審議会の意見を伺いたい。

委員：伝統文化こども教室等の助成金も減らされている情勢がある。郷土芸能の保存・継承のための補助は必要だと思う。

(3) 各種委員の選出について

事務局：各種委員の選出を互選でお願いしたい。

入間東部地区文化財保護連絡協議会理事に大久保委員、入間東部地区文化財保護連絡協議会監事に吉川委員、富士見市人権教育推進協議会理事に梅野委員が選出された。

次回会議

次回の日程については、10月の第2水曜日を目途に日程を調整する。

